



深谷市長
新井家光

かんあ
寒明け

早春の地表から黄金色の花をのぞかせる福寿草の植物学上の学名は「アドニス」です。花園文化会館アドニスは当時の花園町の皆さんに命名を募ったものです。凍てつ

いた地中からいち早く春の訪れを告げ、多くの人々に愛される花です。

福寿草が花を出し揃える立春は、寒明けとも言い、冬の厳しい寒さから開放された喜びの季節を表している言葉です。しかし、ニュースでは「まだまだ寒さは厳しいですか」という枕詞が付くのもこの季節です。

今日の経済の状況を考えると、景気の厳しい寒さも、「まだまだ寒さは…」とアナウンスされるのでしょうか。

「倒産も 解雇も明日は 我が身かな」これは或る新聞の投稿欄に載っていた川柳です。

「この世に明けぬ夜は無し」と戯曲「マクベス」でシェークスピアは言っています。いつかはこの寒い景気も明けます。しかし、今の辛いところは、明るくなる光の兆しが見えてこないところです。

深谷市では、昨年12月8日に「深谷市緊急経済対策本部」を設置し、現況を打破すべく、迅速な対応を行ってまいりました。さらに、本年1月には市内企業に対しまして、雇用の安定確保の要請文を出ささせていただいたところです。企業経営が厳しいことも十分承知いたしておりますが、雇用に不安を抱えるかたがたの思いを文書にさせていただいたものです。

中国北宋の政治家蘇軾は、「堅忍不拔」という言葉を用いて、辛い時こそ耐え忍び、困難にも屈しなければ、必ず大きな仕事ができると説いています。先人のこの言葉を信じ、官民一体となってこの難所を乗り越えねばなりません。

本当に寒が明け、温かい春を一日も早く市民の皆様と迎えられるよう、対策に全身全霊を傾けてまいります。

川波の 手がひらひらと 寒明くる 飯田 蛇笏

市の負担 65%削減

公共施設と商業施設の融合!
公共施設 上柴公民館 & L・フォルテ を建設予定

広報ふかや1月号で、上柴公民館や勤労者家庭支援施設(L・フォルテ)と商業施設が一体となった『上柴地区複合施設』の整備事業について、民間事業者の選定方法および施設の概要をご説明しました。今月号では、事業の特徴や市が負担する費用の内容、また、この事業によって得られる財政削減効果を説明します。

Q 今回の事業の特徴は?

A 今回の事業は、公共施設と商業施設が一体となった、深谷市で初めての複合施設を整備する事業です。市は、複合施設整備によって、財政負担の軽減を図りつつ、会議やスポーツ、文化教養の場を拡充します。また、各種相談業務の充実など、これまで以上のサービスを提供することができるようになります。一方、民間事業者は、上柴地域全体の活性化と公共機能との調和を意識した設計に心掛け、新しい形態の商業施設開発を目指しています。

Q 市が負担する費用とその内容は?

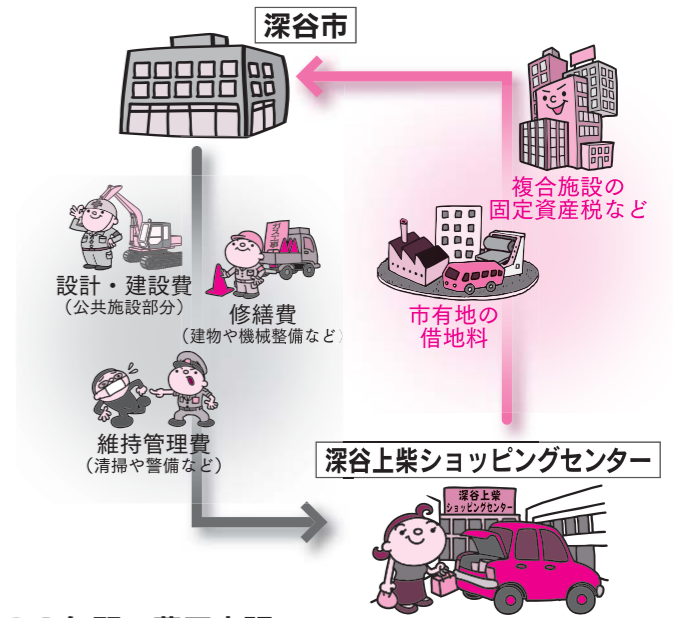
A 市は、公共施設部分の設計・建設費(約13.4億円)、30年間継続的に実施する清掃や警備などの維持管理費(約3.8億円+約0.9億円)、建物や機械設備などの修繕費(約13億円)を支出します。一方、民間事業者である株式会社深谷上柴ショッピングセンターからは、30年間の市有地の借地料(約7.7億円)や複合施設の固定資産税など(約10.1億円)の収入を得ることができます。今回、市が負担する費用は、複合施設のうち公共施設の建設費や維持管理費などの支出(約31.1億円)から土地の借地料や固定資産税などの収入(約17.8億円)を差し引いた額である約13.3億円となります。【右表を参照】

Q 財政削減効果はどの程度になるの?

A 公共施設を市単独で整備する従来の手法で試算した額が、約38.3億円であるのに対し、今回の手法による実質的経費は、約13.3億円となります。これらを比較すると、約25億円の経費を削減できることになり、財政負担が約65%抑えられることが見込まれます。

■事業の詳細は、市ホームページをご覧ください。

上柴地区複合施設 検索



30年間の費用内訳

| 内容 | 従来の手法 | 今回の手法 |
|-------------------|---------|---------|
| 設計・建設段階 | 約21.6億円 | 約13.4億円 |
| 維持管理・運営段階 | 約16.7億円 | 約17.7億円 |
| 支出合計 | 約38.3億円 | 約31.1億円 |
| 収入 | - | 約17.8億円 |
| 支出-収入(市が負担する費用合計) | 約38.3億円 | 約13.3億円 |

約25億円削減、財政負担 約65%減

深谷市の緊急経済追加対策

「沈思黙考」ワンポイント解説

1 雇用の安定確保のお願い

市内の主だった企業50社を訪問し、国で実施する雇用継続対策の活用や、ワークシェアリングの導入などを検討し、安定的な雇用継続に努めていただくよう、要請を行いました。

2 市営住宅を緊急的に貸し出します

仕事の確保は、まず住居の確保から!!
そこで、昨年の11月1日以降、失業に伴い住居を失った市民のかたを対象に、緊急的な措置として上柴地区にある市営住宅を貸し出します。

【入居期間】 6か月以内
【提供戸数】 5戸(上柴町西1-15-1)
【間取り】 2UDK風呂なし

【家賃】 5,400円/月(500円/月(通常の半額))
【申込期限】 2月2日(月)16日(日)

※土・日曜日、祝日を除く
【問い合わせ】 くらいいきいき課(574-6633)へ
※一般の入居者募集については10ページをご覧ください。

3 就職相談の開催日を拡充しました

これまで週2回だった市の就職相談を、2月から週5日に拡充しました。どうぞご利用ください。
なお、時間帯により込み合うことも予想されるため、あらかじめ電話予約をお受けしています。

【時間】 毎週月・金曜日 ※祝休日を除く
【時間】 午前10時~午後3時
【ところ】 就職相談室(産業会館3階)
【問い合わせ】 商工振興課(574-6650)へ